

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会  
平成20年度 第1回 幹事会 議事録

日 時：平成20年8月1日(金)10:30~18:00

場 所：(社)地盤工学会会長室(3F)

出席者：後藤委員長，川崎委員兼幹事，豊田委員兼幹事(議事録担当)(以上，計3名)

議 事：

審議事項

1. 赤本の解説の査読について

赤本の解説の執筆状況について確認したところ，完成度の高い原稿が出来上がってきている．そこで，当初考えていた，「各WGの解説原稿を他の2つのWGが査読する」という方法を改め，室内試験規格・基準委員会内で査読することを基本とする．各WG幹事に査読担当を割り振り，室内試験規格・基準委員会全員ですべての箇所を見直す．これに関する第一回目の会合を8月下旬(8/25,26の2日間を第一案)に開催する．各WGの担当は次のようにする．なお，各WGに割り振った査読の方法は，WG幹事に一任する．

解説(JIS関連基準番号を記す)	詳細査読担当
WG1の11基準(0101,0111,0121,0122,0131,0132,0135,0141,0142,0145,0151)	WG2
WG1の12基準(0161,0162,0171,0172,0191,2110,2121,2124,2125,2132,2134,0051)	WG4
WG2の6基準(0211,0212,0221,0231,0241,0251)	WG6
WG3の3基準(0311,0411,0412)	WG8
WG4の25基準は後日	
WG5の7基準(0711,0716,0721,0811,0812,0821,0831)	WG3
WG6の5基準	WG1
WG8(解説のみ)	WG5

2. 総説と付録の執筆について

「第1編 総説」に中にある，「第4章 土質試験のための乱した土の試料調整」は「第2編 物理試験」に，「第5章 力学試験のための乱さない粘性土試料の取扱方法」は「第7編 力学試験」に移動する案が出された．移動する場所については，継続審議とする．総説の第2章と第3章に関しては，岩関連を追加するためにコンサルの方を中心に執筆していただけの方を探すこととした．

付録の「6. 基準およびデータシートの改変経緯」は，各WGに基準の改変経緯について追記をお願いする．データシートについても変更したところがないか確認する．「7. 薬液注入工法に関する暫定指針」に関しては，WG5に確認をお願いする．「8. 規格・基準制定・改正案作成委員会名簿」に関しては，どの時点の名簿を掲載するのか継続審議とする．

報告事項

1. 理事会報告

JIS規格改正については，理事会で問題なく承認された．赤本改訂は，地盤工学会60周年

記念事業の中に組み込まれることとなった。ふるいの ISO 規格がどのようになっているか調査依頼があり、今後 ISO 国内委員会と一緒に対応していくこととした。

2. 岩盤不連続面の一面せん断試験方法

現在、解説案を WG4 でメール審議中である。WG7 としての最終報告書を提出していただき（電子ファイルも含む）、学会図書館においておく。公示期間外にあった基準に対する質問については、質問者にメールで回答を送付したところである。現時点で、基準の変更は考えていない。

3. JGS 一部改正の公示について

現在学会 HP に改正基準が掲載されているが、JIS と同じ基準については掲載されていない。タイトル等の変更を行い、早急に掲載することとした。

4. HP への情報公開状況について

HP の更新（新規メンバーや議事録）が行われていない WG があるので、更新を依頼することとした。また、HP のない新規 WG についても、作成を依頼する。WG7 の HP については、平成 19 年度に活動を終了した旨を記し、情報公開のため、当分の間は公開を続ける。

5. 予算の執行状況について

現在、予算はまだ余っており、解説査読のために、室内試験規格・基準委員会を数回開催する余裕はありそうである。

6. 土質試験 - 基本と手引き - の改訂について

今年度予算はつけているが、まだメンバー等が決定していない。今年度の活動について、電話で確認することとした。

以上